

# 2021年度第2四半期決算の概要及び 2021年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2021年11月5日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 目次

1. 2021年度第2四半期決算の概要	
1) 主要関連指標動向	…1
2) 主な投資案件の状況	…2
3) 決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（対前年決算）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2021年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-14
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想（対前回予想）	…15-17
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	…18-21
4) キャッシュ・フロー計算書の予想	…22
5) セグメント別業績推移	…23
6) 資源投入計画	…24
7) 株主還元	…25
3. 補助資料	…26-31

# 1. 2021年度第2四半期決算の概要

---

# 1) 主要関連指標動向

関連指標		21年度			
		1Q→2Q		上期→下期	
自動車生産台数(世界)		→		↗	
日本 北米 中国 ASEAN 欧州		・自動車生産台数は、グローバルに部材不足の影響が長期化し横ばいで推移		・上期から下期にかけては、部材不足の影響が3Qに一部残るものの上期からは <b>回復を見込む</b>	
半導体市場		需要堅調		↗	
市況	フェノール	→		→	
	ビスフェノールA	・ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し <b>高水準で推移</b>		・ビスフェノールAの海外市況は、 <b>下落を見込む</b>	
	アセトン	・アセトン市況 <b>下落</b>		↓	
	TDI	・TDI市況は <b>下落</b>		・ <b>下落を見込む</b>	
クランク稼働率		高稼働		高稼働	

## 2) 主な投資案件の状況

投資案件(一部)		時期	能力	FY20	FY21	FY22	FY23以降
モビリティ	PPコンパウンド新拠点設立@Netherland	20年6月	30KT	▶			
	PPコンパウンド能力増強@Thailand	20年9月	13KT	▶			
	ガラス長繊維強化PP新設@China	21年4月	3.5KT	▶			
	アベル®新プラント@Japan	22年3月	+50%	▶			
	タフマー能力増強@Singapore	21年4月	25KT	▶			
	EUVベリクル新設備@Japan	21年4月	-	▶			
	ルーカント新拠点@Japan	21年4月	20KT	▶			
	ARRK社完全子会社化	20年8月	-	▶			
ヘルスケア	松風業務・資本提携強化	20年5月	-	▶			
	超撥水・反射防止コーティング材 COTEC®社買収	20年10月	-	▶			
	テクノロート®能力増強@Japan	20年11月	1 Line	▶			
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-	▶			
フード & パッケージング	DIC化工買収	20年12月	13KT	▶			
	イクロステーブ®能力増強@Taiwan	23年10月	380万㎡	▶			
	農薬事業買収	22年1月	-	▶			
基盤素材	α-メチルスチレン設備@Singapore	20年5月	20KT	▶			
	大阪工場 ガスタービン新設備@Japan	20年12月	30MW	▶			
	市原工場 高純度プロピレン能力増強@Japan	20年12月	-	▶			
	本州化学工業 TOB	21年6月完了	-	▶			
	ポリウレタン事業 合併解消	21年12月	-	▶			
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年1月	200KT	▶			
	高機能PP新設備 @Japan	24年11月	200KT	▶			

21年度上期 商業運転開始プラント等

21年度上期 意思決定案件等

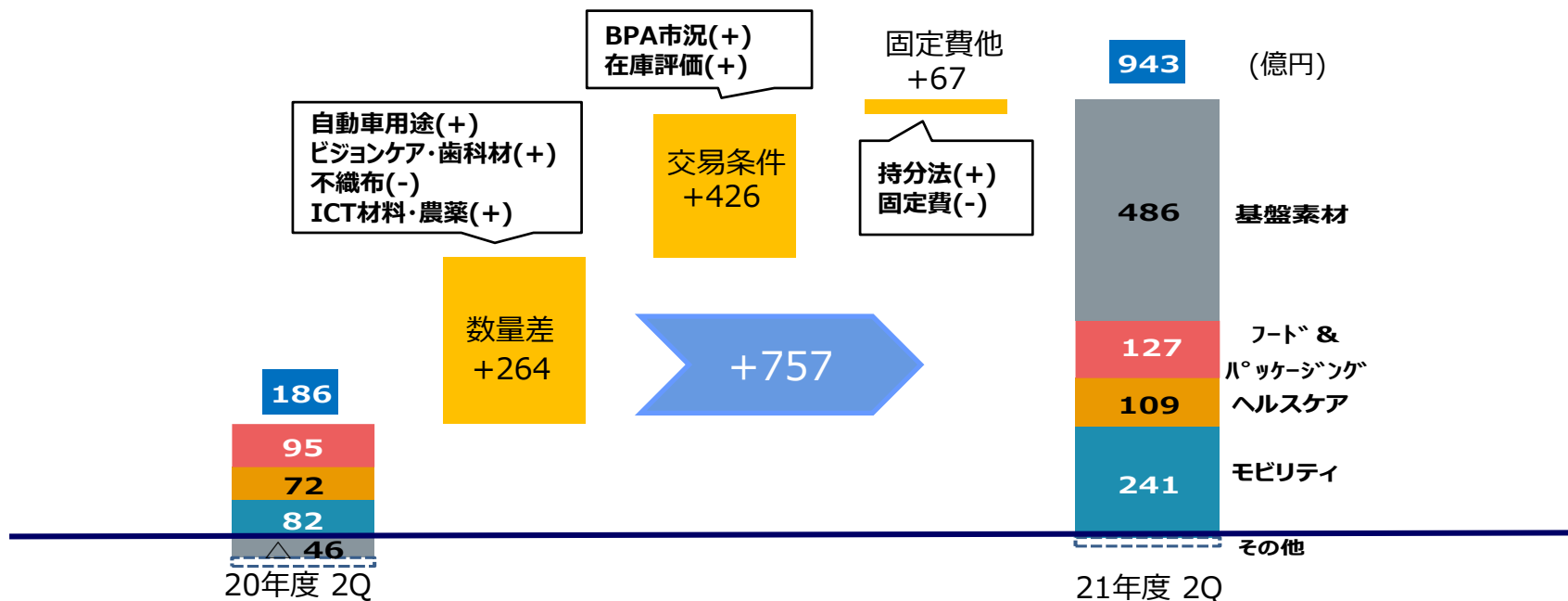
## 3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	20年度 4-9月決算	21年度 4-9月決算	増減	増減率
売上収益	5,370	7,435	2,065	38%
コア営業利益	186	943	757	408%
(うち、持分法による投資損益)	△ 2	163	165	-
非経常項目	△ 7	2	9	-
営業利益	179	945	766	428%
金融収益・費用	△ 22	△ 21	1	-
税引前四半期利益	157	924	767	487%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	96	739	643	670%
為替レート(円/US\$)	107	110	+ 3	
国産ナフサ(円/KL)	27,600	50,600	+ 23,000	
中間配当	50円/株	55円/株	+ 5円/株	

## 3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- ①各セグメントCOVID-19の影響からの需要回復に伴い販売は大きく回復。  
一方、不織布はCOVID-19による品薄状況の解消により販売は減少。
- ②ICT関連材料、農薬は引続き販売堅調
- ③ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準継続
- ④20年度上期の原料価格急落に伴う在庫評価損(含むフォーミュラ期ずれ影響)の解消、  
及び21年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益
- ⑤需要回復による増販及び市況改善に伴い持分法投資損益の改善



## 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (対前年決算)

(単位：億円)

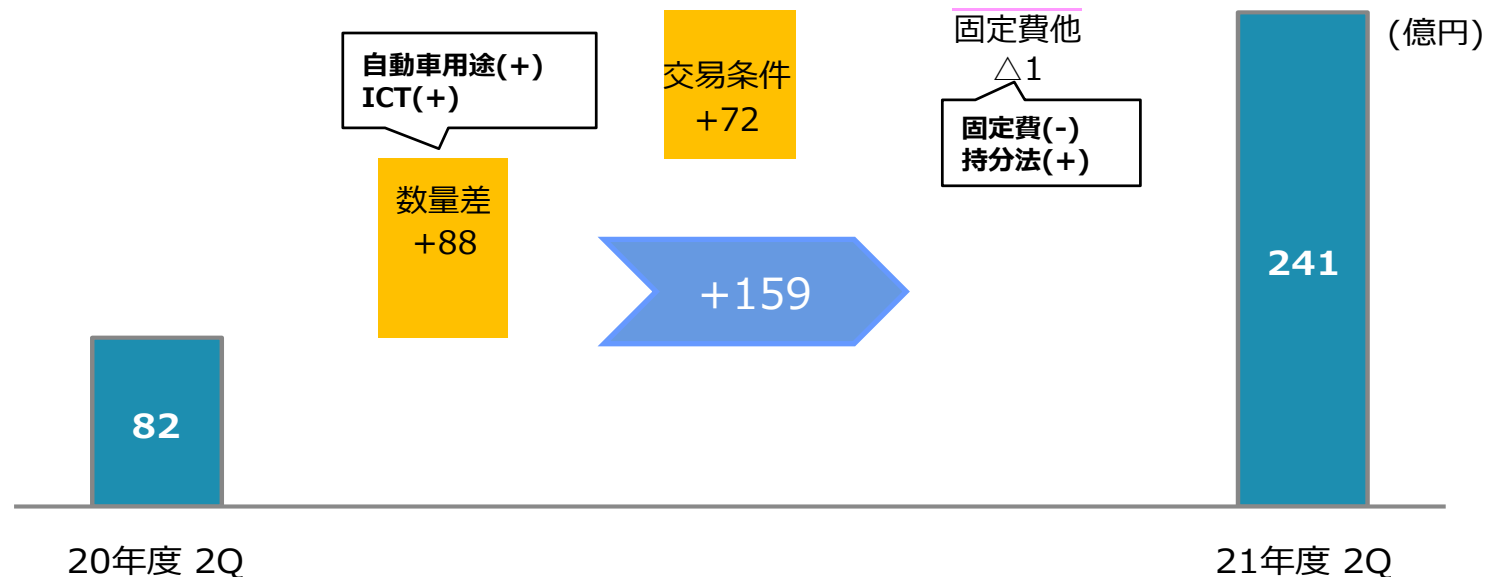
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	20年度 4-9月決算	21年度 4-9月決算	増減	20年度 4-9月決算	21年度 4-9月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	1,320	1,911	591	82	241	159	88	72	△ 1
ヘルスケア	660	809	149	72	109	37	84	△ 15	△ 32
フード & パッケージング	896	1,070	174	95	127	32	57	△ 18	△ 7
基盤素材	2,426	3,574	1,148	△ 46	486	532	35	387	110
その他	68	71	3	△ 17	△ 20	△ 3	-	-	△ 3
合計	5,370	7,435	2,065	186	943	757	264	426	67
成長3領域*	2,876	3,790	914	249	477	228			

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング



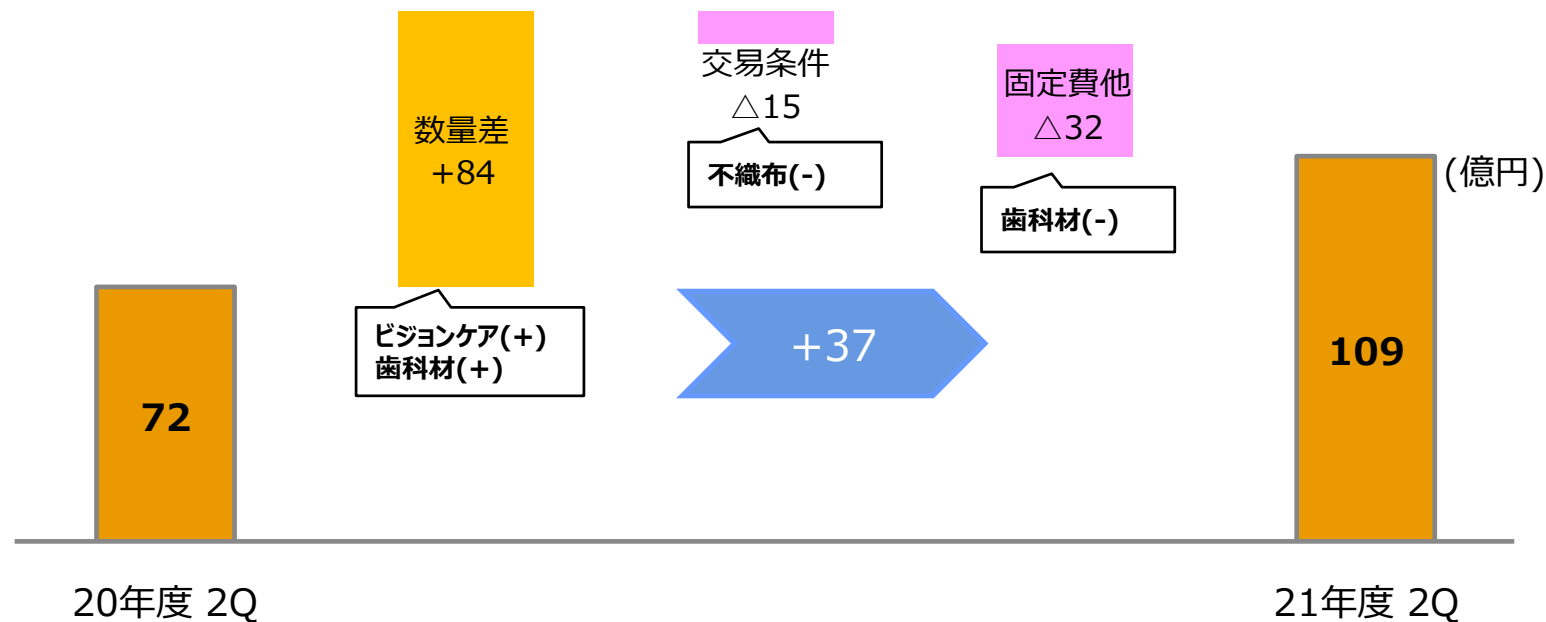
# 5-1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度2Q決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21年度の部材不足に伴う自動車生産台数減少の影響はあるものの、大きくCOVID-19の影響を受けた20年度からは回復</li> <li>・価格改定による交易改善、原料価格上昇に伴う在庫評価益</li> <li>・持分法投資損益の改善</li> <li>・新設プラント稼働により固定費増(タフマー、ルーカント)</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 持分法(+) 固定費(-)
機能性ポリマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT関連材料の販売は堅調に推移</li> <li>・新設プラント稼働により固定費増(EUVペリクル)</li> </ul>	数量(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会の中止等による試作案件の受注減</li> </ul>	-






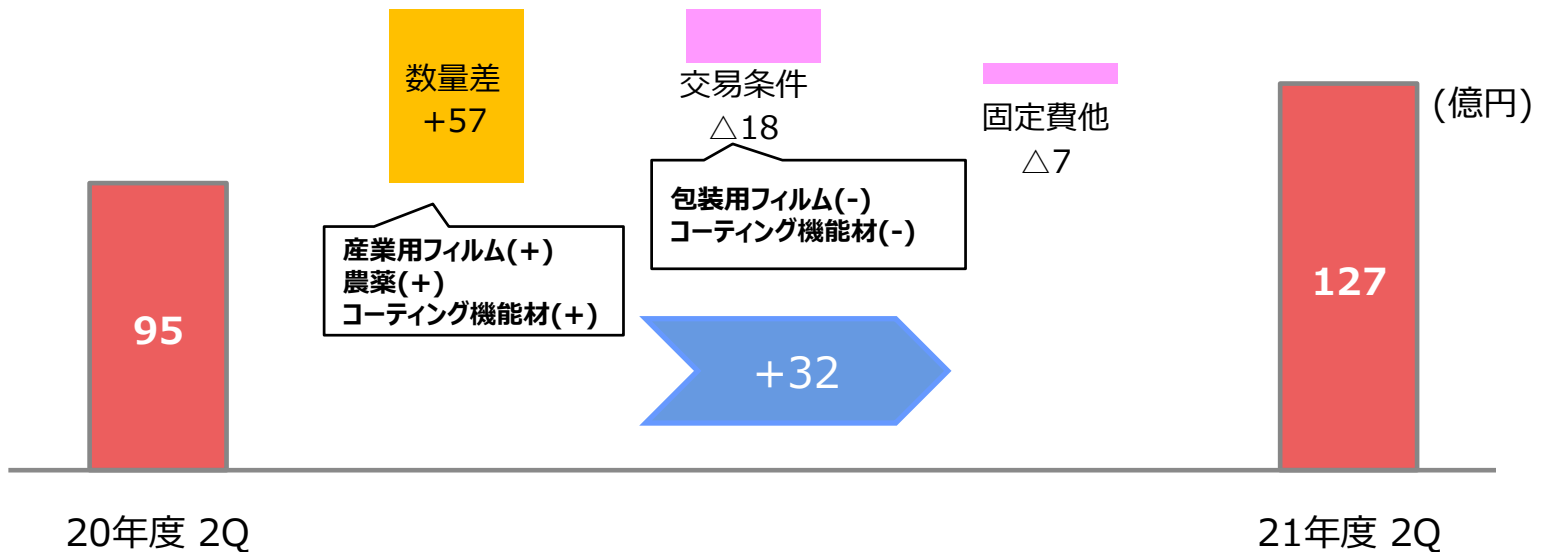
# 5-2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度2Q決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要回復に伴い販売は堅調に推移</li> </ul>	数量(+)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19による品薄状況は解消</li> <li>・原料価格上昇に伴う交易悪化</li> </ul>	数量(-) 交易条件(-)
歯科材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要回復に伴い販売は堅調に推移</li> <li>・販売回復に伴う固定費増</li> </ul>	数量(+) 固定費(-)



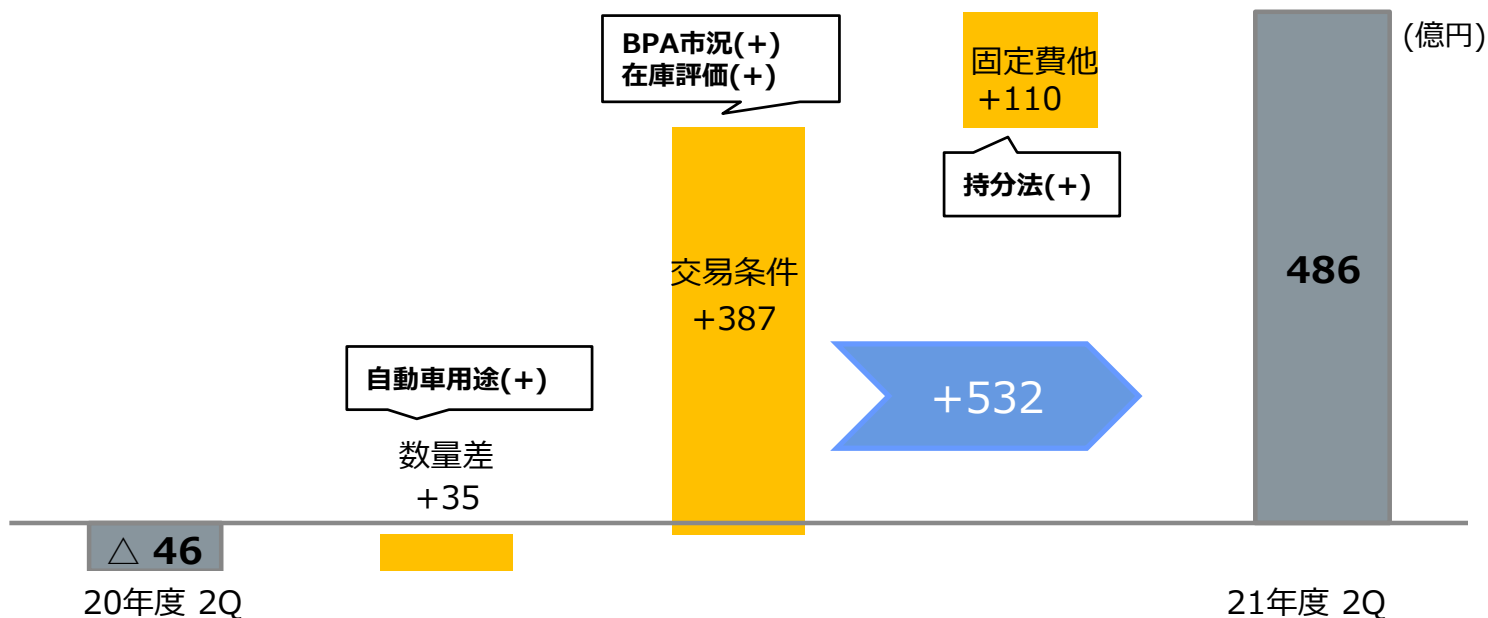
# 5-3) フード&パッケージング:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度2Q決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
包装用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・原料価格上昇に伴う交易悪化</li> </ul>	取引条件(-)
産業用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体需要増に伴い販売は堅調に推移</li> </ul>	数量(+)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外向けの販売は増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(-)



# 5-4) 基盤素材:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度2Q決算/コア営業利益方向感	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ)</li> <li>自動車用途を中心に販売増</li> <li>クラッカーは高稼働で推移</li> </ul>	数量(+) 在庫(+)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要回復に伴い販売増</li> <li>ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準で推移</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 持分法(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>市況改善に伴い持分法投資損益改善</li> </ul>	持分法(+)



## 6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	20年度 4-9月決算	21年度 4-9月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 5	△ 4	1
その他の	△ 2	6	8
非経常項目 合計	△ 7	2	9

# 7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	21年3月末	21年9月末	増減	摘要	21年3月末	21年9月末	増減
流動資産	( 7,876 )	( 9,033 )	( 1,157 )	負債	( 8,760 )	( 9,277 )	( 517 )
現金及び 現金同等物	1,960	1,968	8	営業債務	1,197	1,476	279
営業債権	2,858	2,990	132	有利子負債	5,638	5,622	△ 16
棚卸資産	2,588	3,105	517	その他	1,925	2,179	254
その他	470	970	500	資本	( 6,821 )	( 7,647 )	( 826 )
非流動資産	( 7,705 )	( 7,891 )	( 186 )	親会社の所有者に 帰属する持分	6,079	6,777	698
有形固定資産及び 使用権資産	5,020	5,352	332	非支配持分	742	870	128
のれん及び 無形資産	208	268	60				
非流動の その他の資産	2,477	2,271	△ 206				
合計	15,581	16,924	1,343	合計	15,581	16,924	1,343

## 8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	20年度 4-9月決算	21年度 4-9月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,111	626	△ 485
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 394	△ 395	△ 1
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	717	231	△ 486
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 57	△ 234	△ 177
IV. その他	△ 10	11	21
現預金等増減	650	8	△ 642

## 2. 2021年度業績予想の概要

---



# 1 - 1 ) 業績予想の概要

(単位：億円)

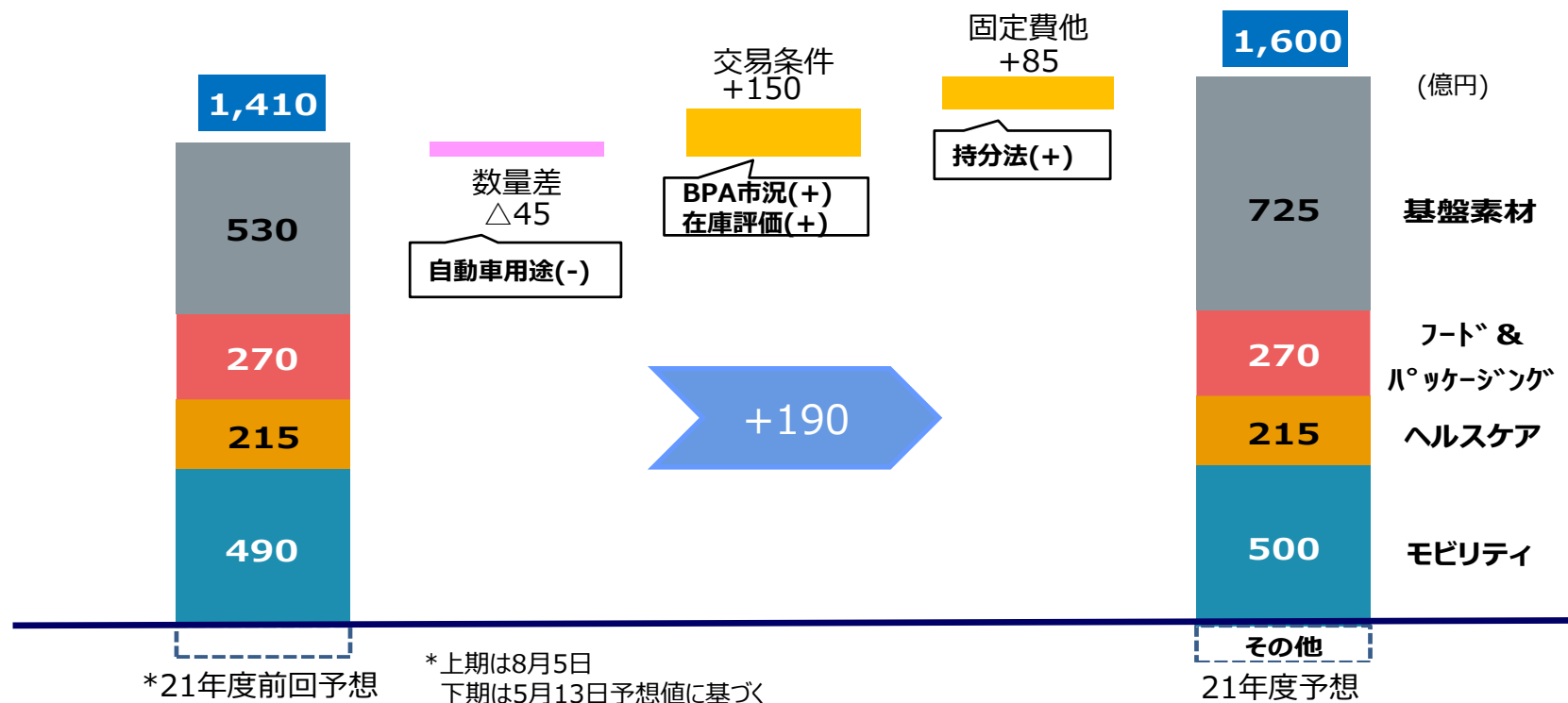
摘要	21年度前回予想 (21.8.5発表*)		21年度予想		増減 (b)-(a)		20年度決算	
	4-9月	年度 (a)	4-9月 決算	年度 (b)	年度	%	4-9月	年度
売上収益	7,600	14,900	7,435	16,300	1,400	9%	5,370	12,117
コア営業利益	860	1,410	943	1,600	190	13%	186	851
非経常項目	△ 30	△ 20	2	△ 150	△ 130	-	△ 7	△ 70
営業利益	830	1,390	945	1,450	60	4%	179	781
金融収益・費用	△ 30	△ 55	△ 21	△ 55	0	-	△ 22	△ 39
税引前利益	800	1,335	924	1,395	60	4%	157	742
親会社の所有者に 帰属する当期利益	620	995	739	1,030	35	4%	96	579
為替レート(円/US\$)	110		110	112			107	106
国産ナフサ(円/KL)	50,350		50,600	55,300			27,600	31,300
配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	55 円/株	55 円/株	55 円/株	55 円/株	+0円/株	+0円/株	50 円/株	50 円/株
通期 110 円/株		通期 110 円/株		通期 +0円/株		通期 100 円/株		

\*上期は8月5日  
下期は5月13日予想値に基づく

# 1-2) 業績予想の概要 (コア営業利益)

## 【前回予想時点からの事業動向変化】

- ①部材不足長期化による自動車生産台数の減少による減販
- ②ビスフェノールAの海外市況は、2Qも需給環境が逼迫し1Q並みの高水準継続。上期から下期にかけては下落を見込むも高水準継続（予想水準を上回る）
- ③原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ影響)
- ④需要回復による増販及び市況改善に伴い持分法投資損益の改善



## 2-1) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (対前回予想 年間)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益		
	21年度前回予想 (21.8.5発表)	21年度予想	増減	21年度前回予想 (21.8.5発表)	21年度予想	増減
モビリティ	4,100	4,350	250	490	500	10
ヘルスケア	1,600	1,650	50	215	215	0
フード & パッケージング	2,260	2,300	40	270	270	0
基盤素材	6,800	7,860	1,060	530	725	195
その他	140	140	0	△ 95	△ 110	△ 15
合計	14,900	16,300	1,400	1,410	1,600	190
成長3領域*	7,960	8,300	340	975	985	10

\* モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

## 2-2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (対前回予想 上期)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳			主要増減要因
	4-9月 前回予想 (21.8.5発表)	4-9月 決算	増減	4-9月 前回予想 (21.8.5発表)	4-9月 決算	増減	数量差	交易条件	固定費他	
モビリティ	2,050	1,911	△ 139	255	241	△ 14	△ 25	△ 10	21	自動車用途減販(-)
ヘルスケア	800	809	9	100	109	9	5	0	4	
フード & パッケージング	1,080	1,070	△ 10	135	127	△ 8	△ 5	△ 3	0	
基盤素材	3,600	3,574	△ 26	410	486	76	△ 25	80	21	自動車用途減販(-) BPA海外市況(+) 在庫評価益(+)
その他	70	71	1	△ 40	△ 20	20	-	-	20	
合計	7,600	7,435	△ 165	860	943	83	△ 50	67	66	

成長3領域*	3,930	3,790	△ 140	490	477	△ 13
--------	-------	-------	-------	-----	-----	------

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

## 2-3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (対前回予想 下期)

(単位：億円)

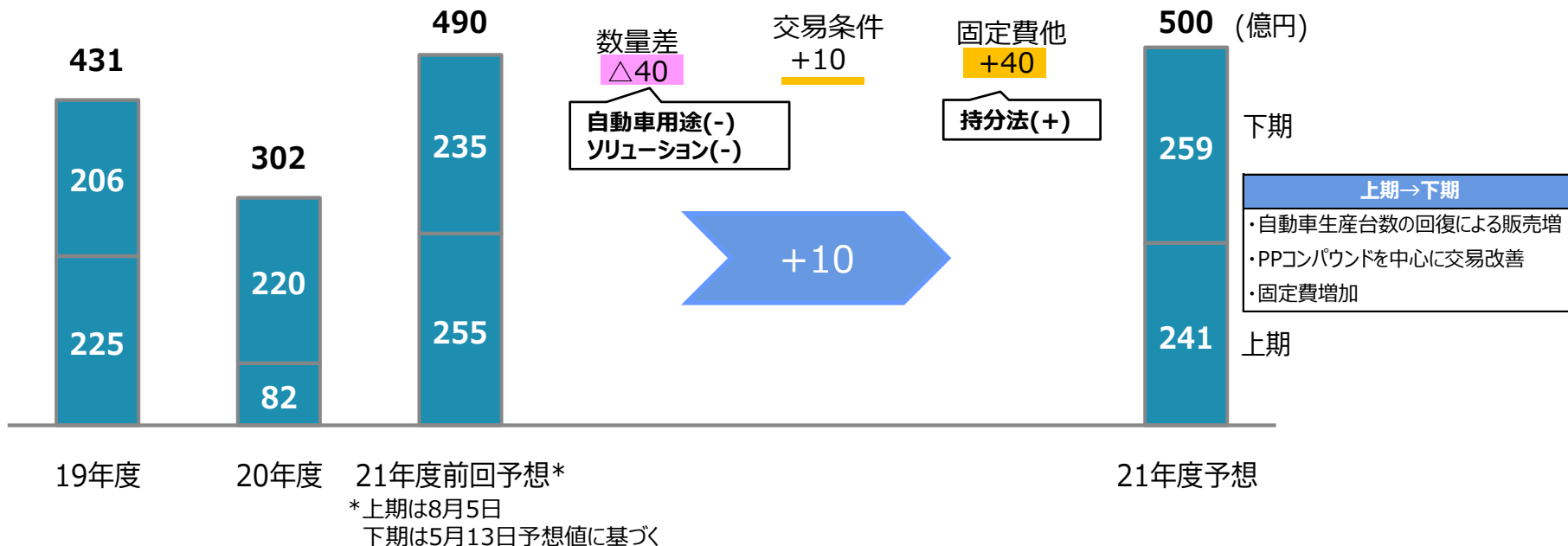
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳			主要増減要因
	下期 前回予想 (21.5.13発表)	下期 予想	増減	下期 前回予想 (21.5.13発表)	下期 予想	増減	数量差	交易条件	固定費他	
モビリティ	2,000	2,439	439	235	259	24	△ 15	20	19	ソリューション事業(-) 持分法損益改善(+)
ヘルスケア	770	841	71	115	106	△ 9	5	△ 10	△ 4	原料価格上昇(-)
フード & パッケージング	1,150	1,230	80	135	143	8	15	△ 7	0	半導体関連(+) 原料価格上昇(-)
基盤素材	3,300	4,286	986	120	239	119	0	80	39	BPA海外市況(+)、在庫評価益(+) 持分法損益改善(+)
その他	80	69	△ 11	△ 55	△ 90	△ 35	-	-	△ 35	
合計	7,300	8,865	1,565	550	657	107	5	83	19	

成長3領域*	3,920	4,510	590	485	508	23
--------	-------	-------	-----	-----	-----	----

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

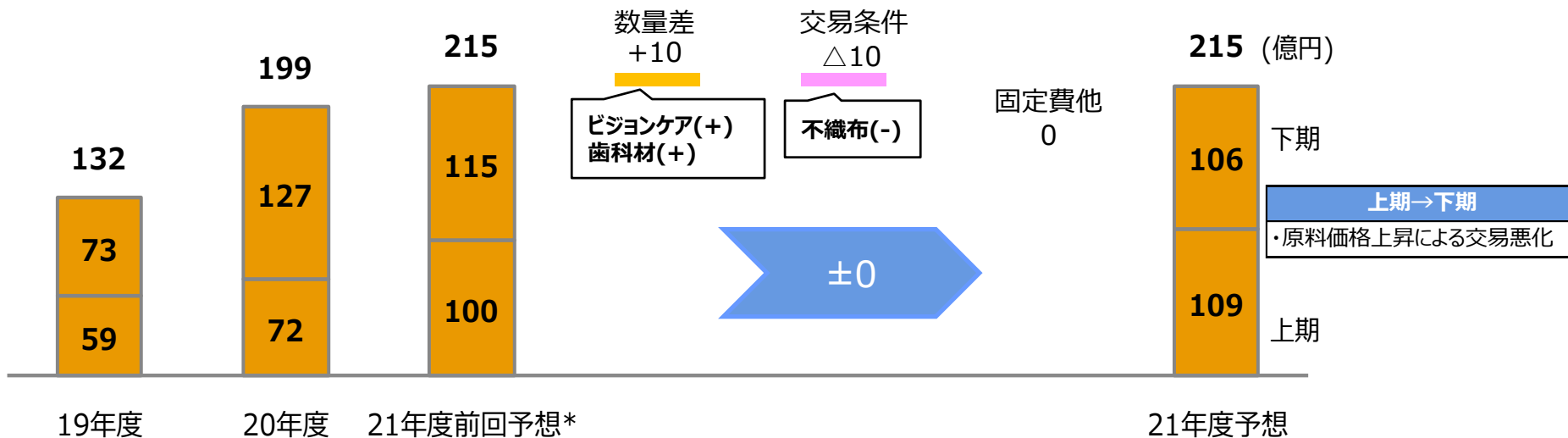
# 3-1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度下期予想/前回予想からのコア営業利益方向感 *	主要増減要因
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格改定による交易改善</li> <li>・持分法投資損益の改善</li> </ul>	交易条件(+) 持分法(+) -
機能性ポリマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT関連の販売は堅調に推移</li> </ul>	-
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作案件の受注減</li> </ul>	数量(-)






## 3-2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

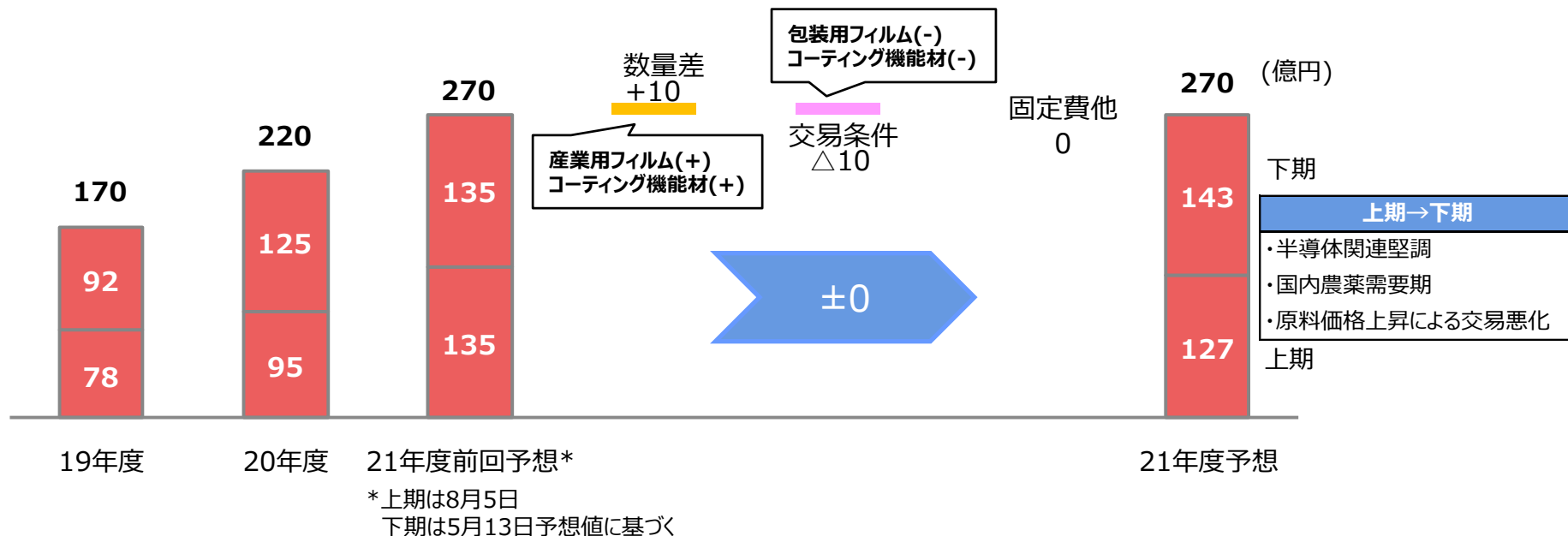
	21年度下期予想/前回予想からのコア営業利益方向感 *	主要増減要因
ビジョンケア	→ ・販売は堅調に推移	数量(+) 固定費(-)
不織布	↘ ・原料価格上昇に伴う交易悪化	交易条件(-)
歯科材	→ ・販売は堅調に推移	-



\*上期は8月5日  
 下期は5月13日予想値に基づく

# 3-3) フード&パッケージング:コア営業利益増減/事業動向変化

	21年度下期予想/前回予想からのコア営業利益方向感 *	主要増減要因
包装用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・原料価格上昇に伴う交易悪化</li> </ul>	交易条件(-)
産業用フィルム	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体需要増に伴い販売は堅調に推移</li> </ul>	数量(+)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> </ul>	-







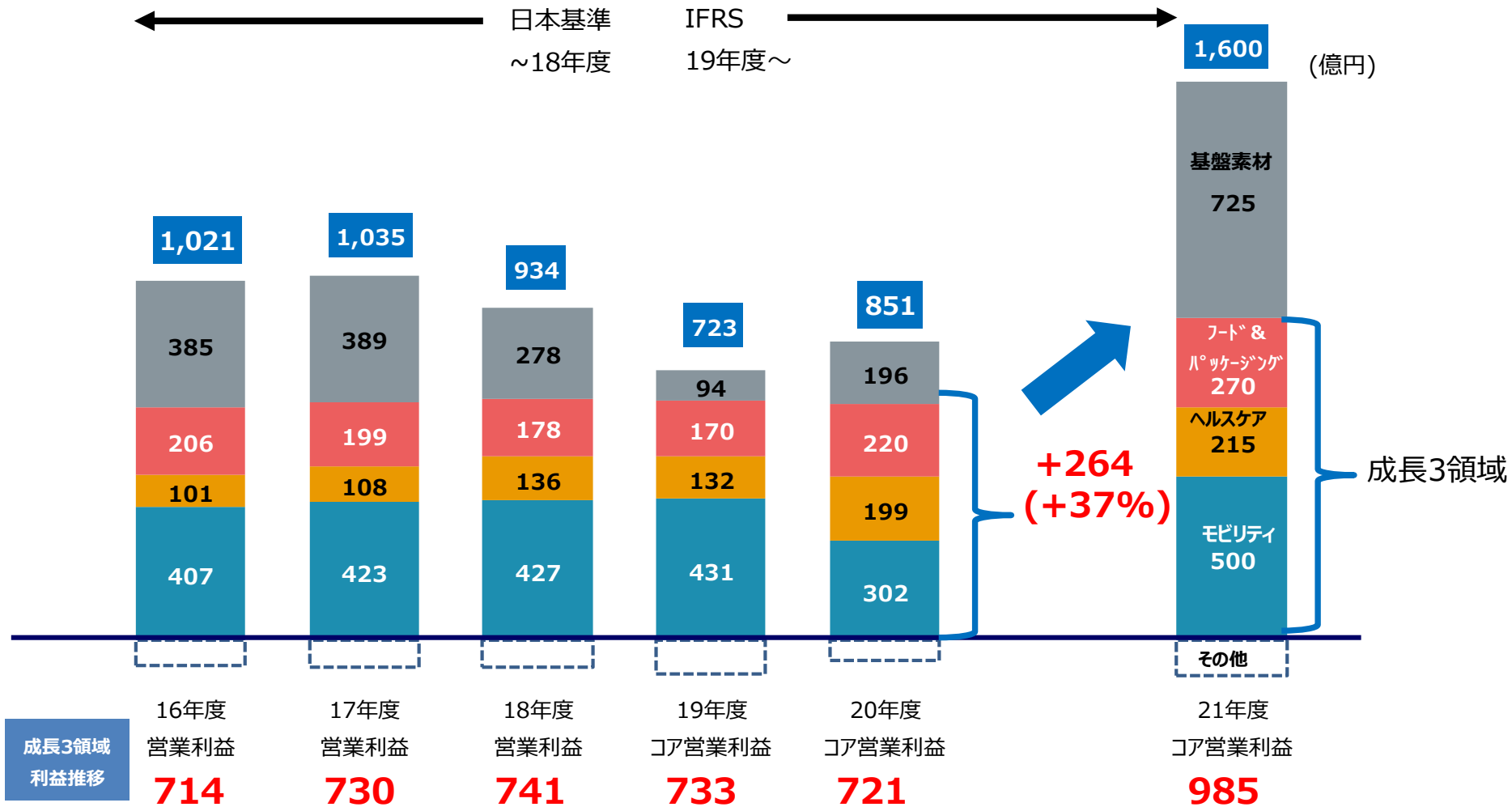
## 4) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	21年度前回予想 *		21年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度(a)	4-9月 決算	年度(b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	970	1,230	626	1,440	210
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 650	△ 1,340	△ 395	△ 1,750	△ 410
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	320	△ 110	231	△ 310	△ 200
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	△ 100	△ 234	270	370
IV. その他	0	0	11	0	0
現預金等増減	60	△ 210	8	△ 40	170

\* 上期は8月5日  
下期は5月13日予想値に基づく

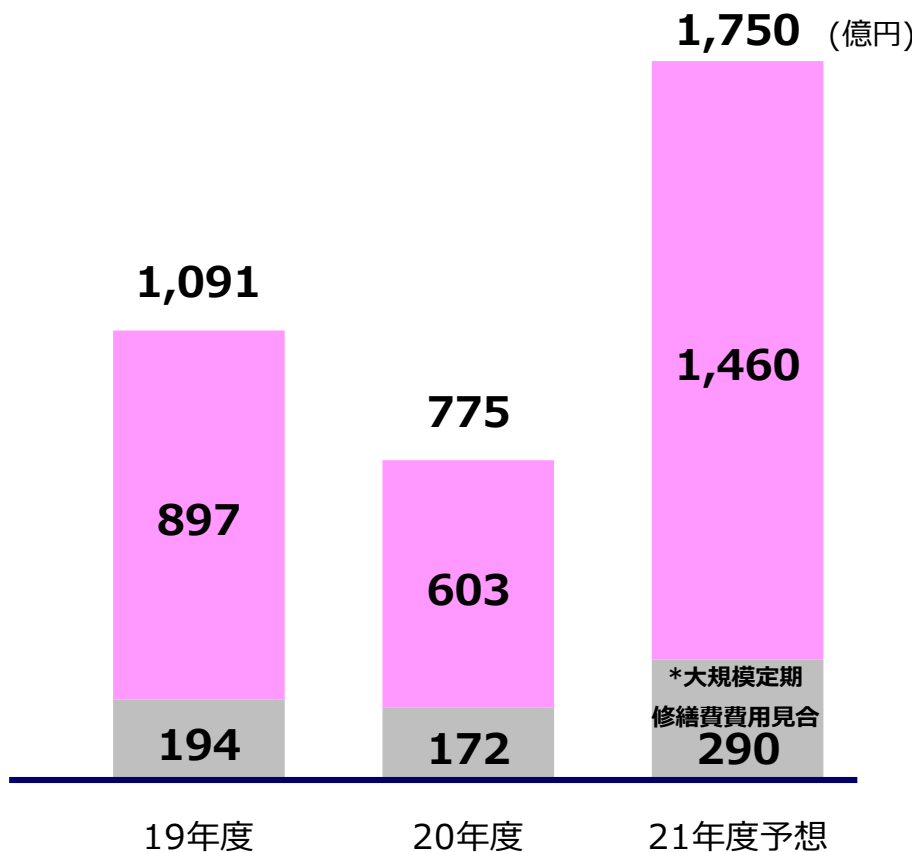
# 5) セグメント別業績推移



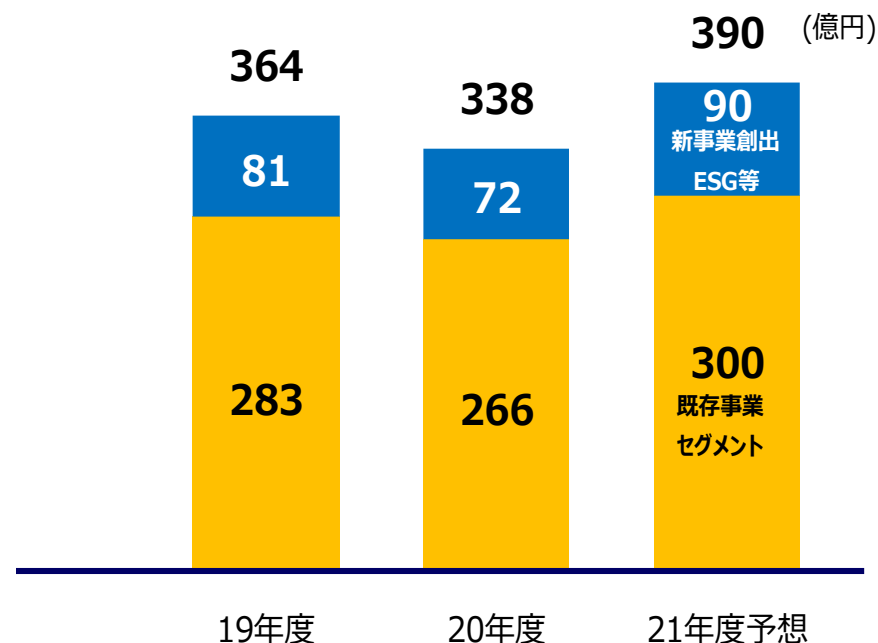
## 6) 資源投入計画

### 投融資

### 研究開発費



\*IFRS適用に伴い有形固定資産として認識



## 7) 株主還元

✓業績の動向を踏まえながら、**安定的かつ継続的な配当**の実現と、**機動的かつ柔軟な自己株式取得**による株主還元の充実を図る。

✓ DOE3.0%以上、総還元性向30%以上を目指す



● 21年度配当予想

中間	期末	年間
55	55	110
円/株	円/株	円/株

+      =

● 自己株式取得 **100億円** 10月末完了

## 3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 財務データ

# 1) 製品価格の状況

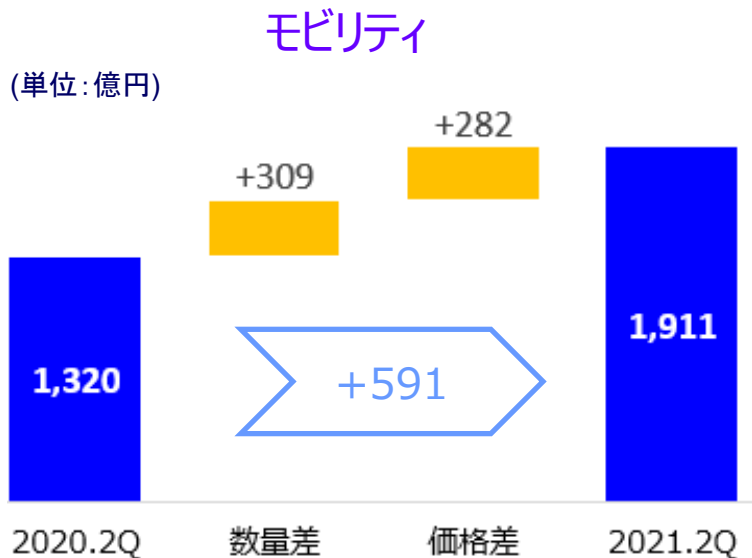
(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

年		2018年	2019年				2020年				2021年		
月		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産標準 ナリ価格	(円/KL)	54,200	41,200	45,400	40,200	41,300	44,800	24,900	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500
P E国内	(円/KG)	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度
P P国内	(円/KG)	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度
P H国内 (フォーミュラ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	+10円	→	→	→	→	→	→	→
B Z (*1 ACP)	(\$/T)	\$770	\$580	\$620	\$660	\$680	\$700	\$360	\$440	\$490	\$720	\$930	\$1,030
B P A国内	(円/KG)	→	→	△15円 (4月~)	→	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,550	\$1,450	\$1,410	\$1,190	\$1,210	\$1,310	\$1,210	\$1,290	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320
P T A 中国市況	(\$/T)	\$910	\$840	\$790	\$700	\$620	\$560	\$420	\$440	\$450	\$600	\$660	\$710
P X (*1 ACP)	(\$/T)	\$1,140	\$1,060	\$910	\$810	\$800	\$710	\$500	\$550	\$560	\$770	\$860	\$920
T D I 中国市況	(\$/T)	\$2,480	\$1,730	\$1,790	\$1,610	\$1,500	\$1,430	\$1,330	\$1,580	\$2,330	\$2,150	\$2,040	*2 \$1,860

\*1 ACP アジア圏契約価格

\*2 TDI 7-8月 平均

## 2-1) 売上収益の増減概要

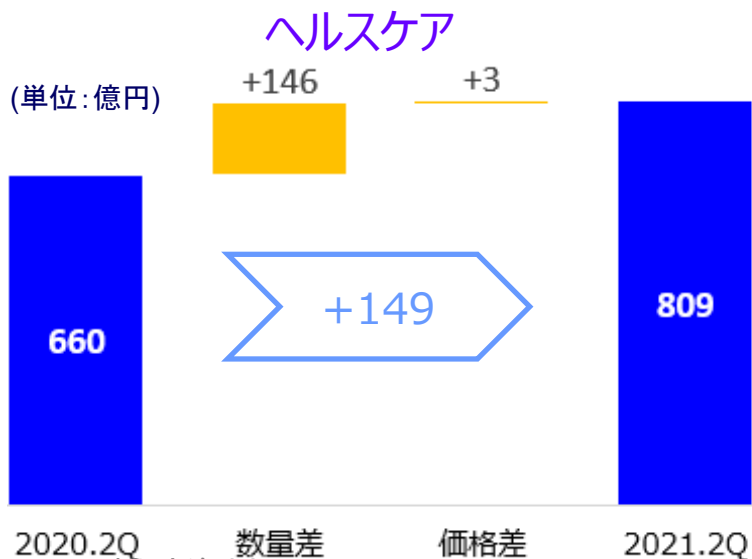


### ◆数量差 +309億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンドはグローバル自動車生産台数回復に伴い増販。
- ・ICT関連の需要に的確に対応。

### ◆価格差 +282億円

- ・原料価格上昇による価格改定等。



### ◆数量差 +146億円

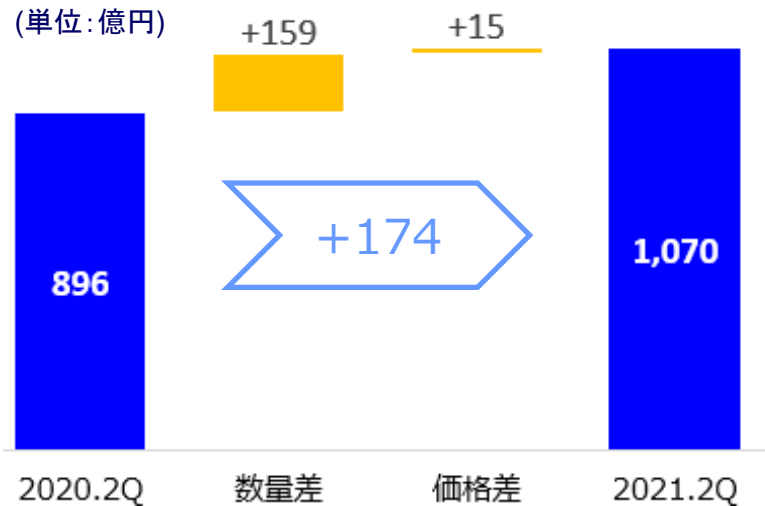
- ・ビジョンケア材料、歯科材料は販売堅調。
- ・不織布は、COVID-19による品薄状況解消により販売減少。

### ◆価格差 +3億円



## 2-2) 売上収益の増減概要

### フード&パッケージング

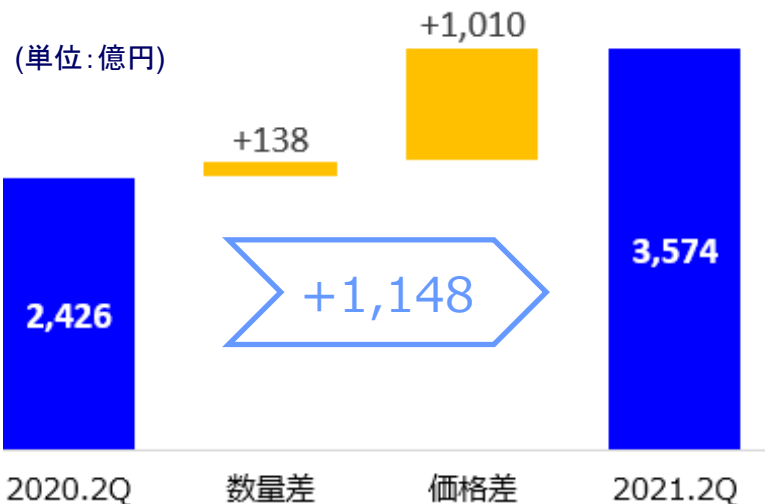


◆ **数量差 +159億円**

- ・産業用フィルム及び農薬は販売堅調。
- ・コーティング機能材は需要回復に伴い販売堅調。

◆ **価格差 +15億円**

### 基盤素材



◆ **数量差 +138億円**

- ・需要回復に伴いポリプロピレンを中心に販売堅調。

◆ **価格差 +1,010億円**

- ・海外市況上昇
- ・原料価格上昇による価格改定。

### 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (四半期別)

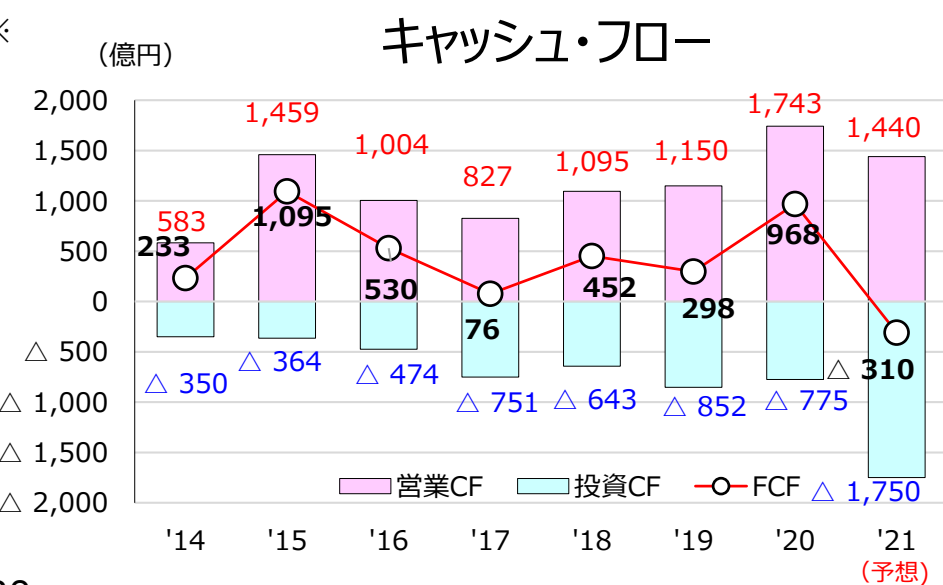
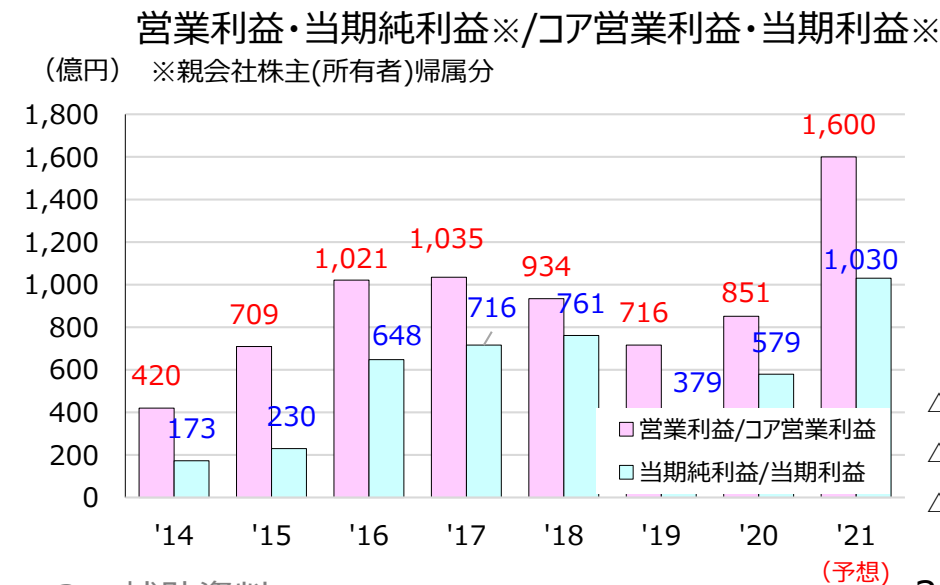
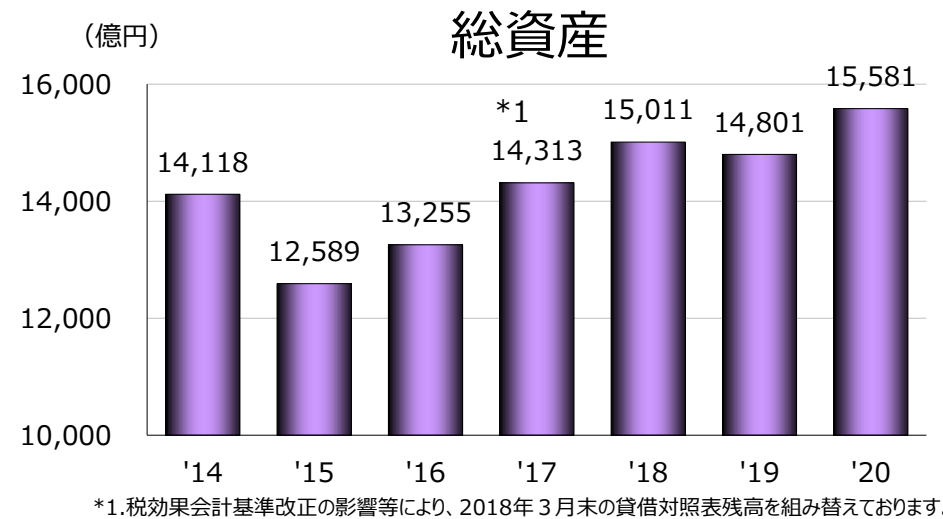
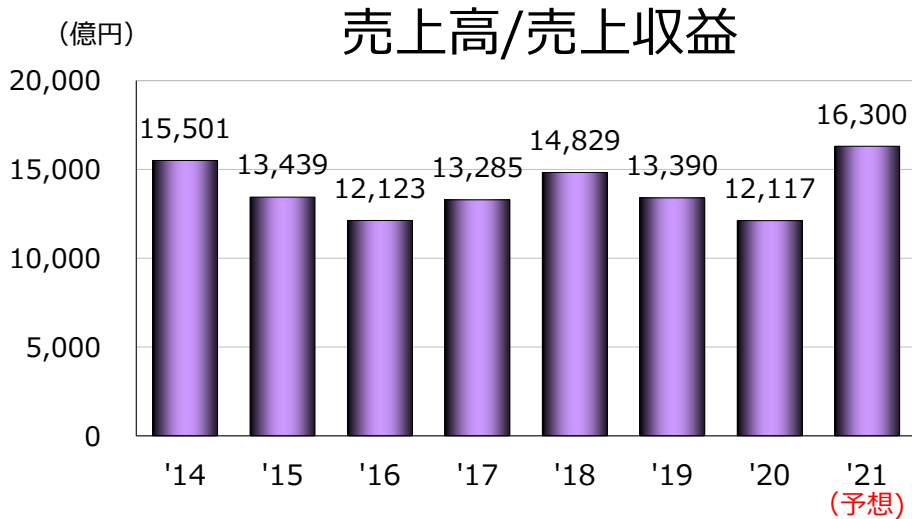
(単位：億円)

セグメント	売上収益					
	20年度				21年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
モビリティ	583	737	888	947	964	947
ヘルスケア	289	371	397	382	412	397
フード & パッケージング	454	442	497	584	535	535
基盤素材	1,186	1,240	1,392	1,596	1,762	1,812
その他	33	35	30	34	33	38
合計	2,545	2,825	3,204	3,543	3,706	3,729

セグメント	コア営業利益					
	20年度				21年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
モビリティ	23	59	113	107	134	107
ヘルスケア	14	58	76	51	60	49
フード & パッケージング	44	51	57	68	70	57
基盤素材	△ 63	17	99	143	267	219
その他	△ 12	△ 5	△ 9	△ 40	△ 12	△ 8
合計	6	180	336	329	519	424

# 4-1) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

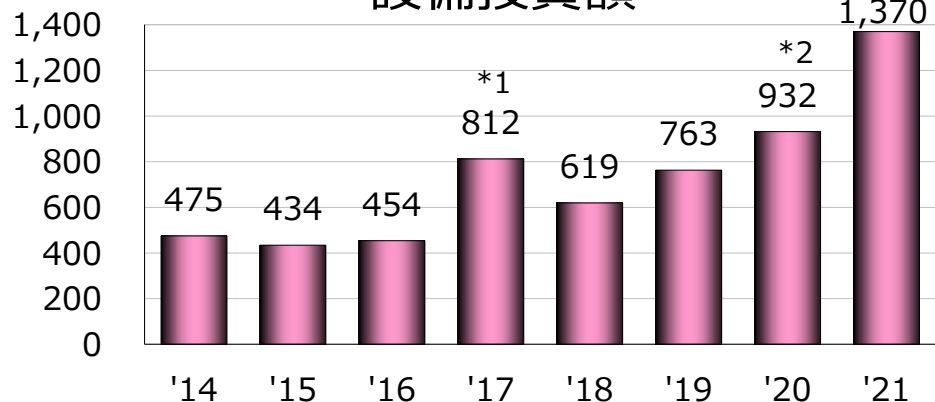


# 4-2) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

(億円)

## 設備投資額

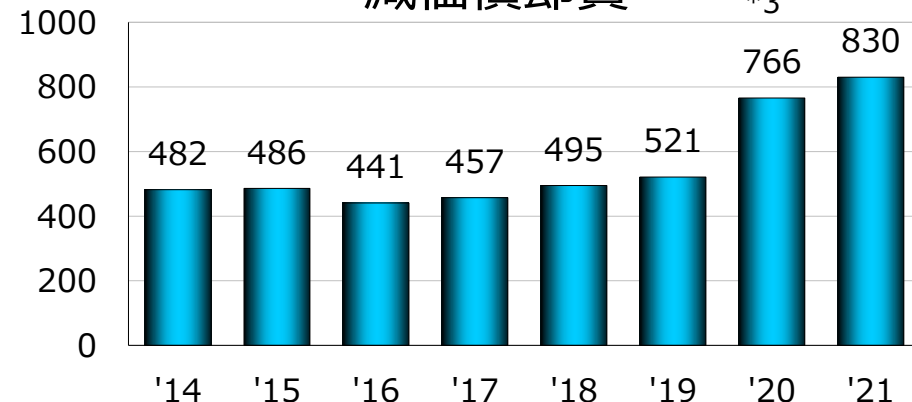


\*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

\*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む

(億円)

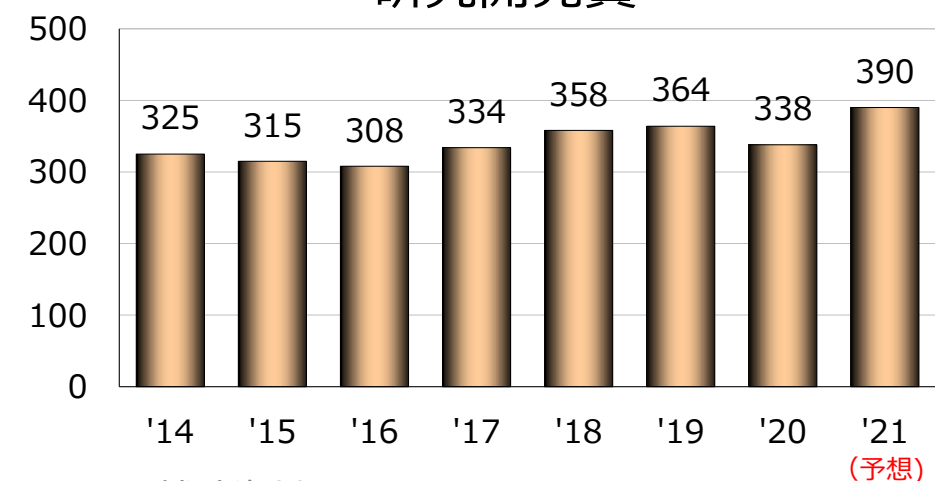
## 減価償却費



\*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む

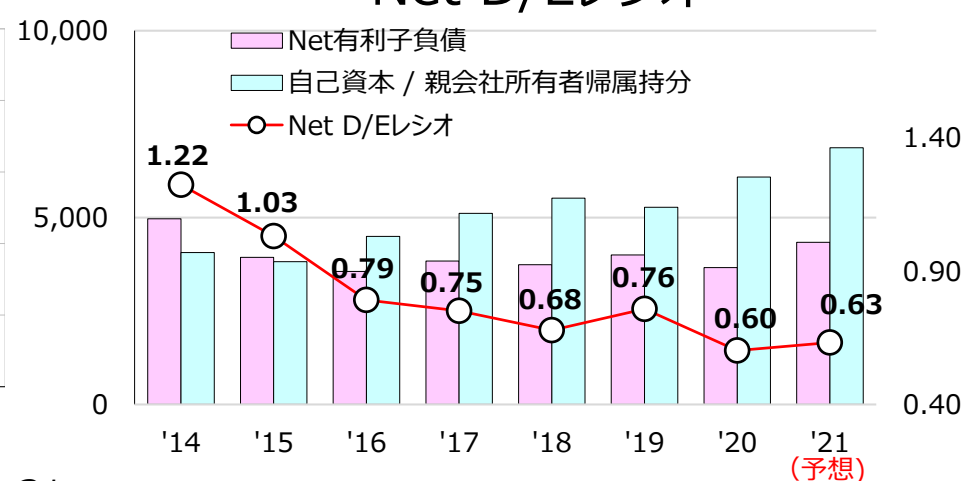
(億円)

## 研究開発費



(億円)

## Net D/Eレシオ





**Mitsui Chemicals**

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、  
社会課題を解決する